

配信先: 宮城県政記者会、文部科学記者会、科学記者会
厚生労働記者会



TOHOKU MEDICAL AND PHARMACEUTICAL UNIVERSITY

4-4-1, Komatsushima, Aoba-ku, Sendai, Miyagi 981-8558, Japan

Tel: +81-22-234-4181; Fax: +81-22-275-2013

<http://www.tohoku-mpu.ac.jp/>

令和3年5月20日

報道関係者各位

学校法人東北医科薬科大学

COVID-19 パンデミック下での糖尿病患者の血糖コントロールは悪化 ～ロックダウンが施行されなかった日本からの大学病院調査～

【研究概要】

東北医科薬科大学医学部糖尿病代謝内科 丹治 泰裕 (たんじ やすひろ) 講師、澤田 正二郎 (さわだ しょうじろう) 准教授、赤井 裕輝 (あかい ひろあき) 教授らの研究グループは、同衛生学・公衆衛生学教室 村上 任尚 (むらかみ たかひさ) 助教、目時 弘仁 (めとき ひろひと) 教授との共同研究により、COVID-19 パンデミック下における日本において、外来通院中の2型糖尿病患者の血糖コントロールは、日本政府による第1回緊急事態宣言(2020年4月7日発令)の前後で悪化したことを明らかにしました。COVID-19 パンデミック下において、世界中の多くの国々では当初、ロックダウンによる強力な移動制限や生活制限が断行されました。これに対し日本では諸外国とは異なりロックダウンは施行されませんでした。それでも感染防止のため公共の場でのマスク着用やソーシャル・ディスタンス、不要不急の外出自粛やリモートワークの導入などによって人々の生活様式は一変しました。このような日本の生活環境の変化の中で、2型糖尿病患者の血糖コントロールの悪化を明らかにした世界で初めての報告になります。本研究結果は2021年5月20日付でDiabetes Research and Clinical Practice誌(国際糖尿病連合の機関誌)電子版に掲載されました。<https://doi.org/10.1016/j.diabres.2021.108840>

【研究内容】

COVID-19 パンデミック下において糖尿病患者が良好な血糖コントロールを維持することは糖尿病合併症を予防する観点からだけでなく、COVID-19 感染防止やその重症化を予防するために極めて重要です。これまで COVID-19 パンデミック下で感染流行を制御するため強力なロックダウンが施行されたスペイン、オランダ、フラン

ス、ギリシア、インドなどの国々では、COVID-19 パンデミックの血糖コントロールに対する影響が報告されてきました。しかし、ロックダウンが施行されなかった日本のような国で、COVID-19 パンデミックが糖尿病患者の血糖コントロールに対して、どのような影響を及ぼしたのかは明らかではありませんでした。

そこで本研究では、外来通院中の 2 型糖尿病患者における COVID-19 パンデミックの血糖コントロールに対する影響を検討しました。2019 年 1 月から 2020 年 8 月まで東北医科薬科大学病院の糖尿病代謝内科外来に通院した糖尿病患者 1,816 名のうち 2 型糖尿病患者 1,009 名を調査対象としました。これら対象患者の治療経過を詳しく解析し、HbA1c (注 1) 値や BMI (注 2) がどのように変化したのかを検討しました。

その結果、2020 年 3 月から 4 月にかけて COVID-19 が日本国内で初めてアウトブレイクするさなか、日本政府から緊急事態宣言が発令された前後で HbA1c 値を比較したところ、HbA1c 値は全体として悪化 (7.45%から 7.53%) していました。さらに、HbA1c 値は、女性、65 歳以上の高齢者、BMI 25 以上の肥満者、インスリン治療を行っていない群の人たちで特に悪化していました (図 1)。この結果から、COVID-19 パンデミック下では、このような患者さんたちに対する治療やサポートを重点的に行う必要があることが分かりました。

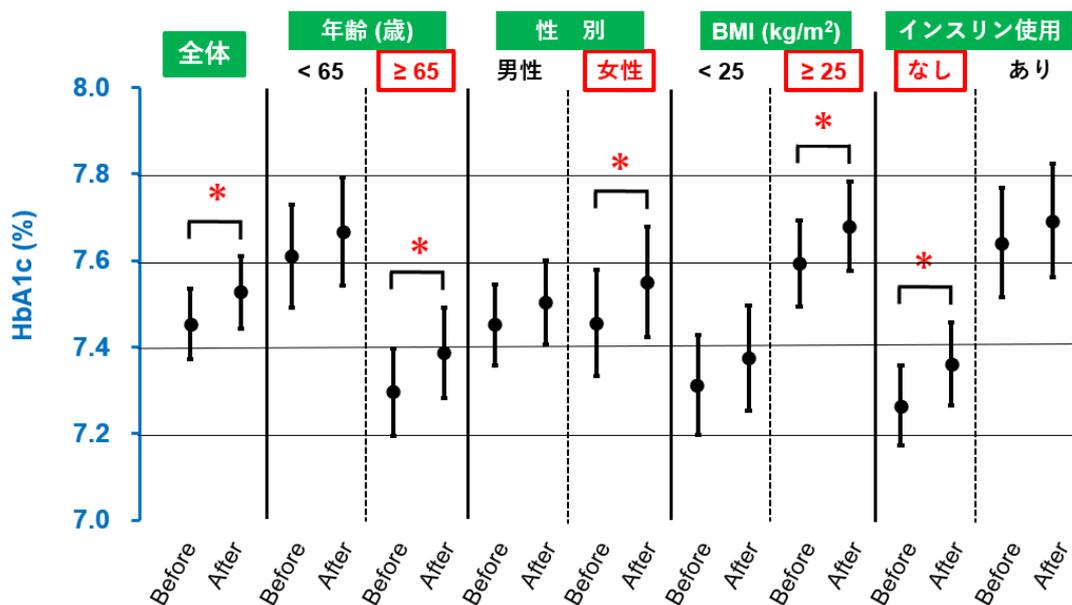


図 1. 緊急事態宣言の前後における HbA1c 値の比較 * P 値 < 0.05

【用語説明】

注1. HbA1c : 過去 1~2 か月間の血糖コントロールの平均値を示す指標。

注2. BMI : body mass index の略。[体重(kg)] ÷ [身長(m)²]で計算される。日本肥満学会の基準では、BMI 25 以上を肥満としている。

【論文題目】

Title: Impact of COVID-19 pandemic on glyceic control among outpatients with type 2 diabetes in Japan: A hospital-based survey from a country without lockdown

Authors: Yasuhiro Tanji, Shojiro Sawada, Taichi Watanabe, Takashi Mita, Yasutaka Kobayashi, Takahisa Murakami, Hirohito Metoki, Hiroaki Akai

タイトル: 日本での外来通院中の2型糖尿病患者におけるCOVID-19パンデミックの血糖コントロールに対する影響: ロックダウンが施行されなかった国からの病院調査

著者名: 丹治 泰裕、澤田 正二郎、渡辺 太一、三田 貴士、小林 靖卓、村上 任尚、目時 弘仁、赤井 裕輝

掲載誌名: Diabetes Research and Clinical Practice (電子版)

doi: 10.1016/j.diabres.2021.108840

<p>【お問い合わせ先】 (研究に関すること) 東北医科薬科大学 糖尿病代謝内科 講師 丹治 泰裕(たんじ やすひろ) 電話番号: 022-290-8850 (福室キャンパス) Eメール: tanji@tohoku-mpu.ac.jp</p>	<p>(報道に関すること) 学校法人東北医科薬科大学 広報室 担当: 多田(ただ)、関根(せきね) 電話番号: 022-727-0357(直通) FAX 番号: 022-727-2383</p>
---	---